

第2節 みどり・生物多様性プロジェクト

概要

狭山丘陵をはじめ市街地を取り囲むように広がっている豊かなみどりは、多様な生物が生息しており、私たちは共存していく必要があります。一方、まちなかのみどりは、まちを彩り、やすらぎのある景観をつくりあげるとともに、気温低減効果等の働きもあり、私たちの生活に欠かせない存在です。

本プロジェクトでは、みどり・生物多様性を保全するために、「みどりの保全と再生」「多様な野生生物の保全」「街中のみどりの創出」「みどりとふれあう機会の創出」を柱として重点的に取り組みます。

環境指標の達成状況（先頭に◎がついている指標：プロジェクト代表指標）

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況				
			2017年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
◎新たなみどりの確保量	ha	増加	55.1	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0
				85.5	96.0	96.3	103.4	
				○	○	○	○	
保全管理計画が策定された緑地の数	箇所	増加	2	3	3	4	4	5
				4	5	6	7	
				○	○	○	○	
市街化区域内に新たに指定した地域制緑地の累計面積	ha	増加	0	↗	↗	↗	↗	0.5
				0.68	0.86	1.04	1.61	
				○	○	○	○	
みどりとふれあうイベントの参加者数	人／年	増加	1,767	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
				1,855	0	0	1,363	
				×	×	×	×	

※ ↗は最終年度目標に向かって増加させていくことを意味しています。

【現状及び課題】

◆代表目標指標を達成し、他の目標指標についても概ね達成

代表目標指標の「新たなみどりの確保量」については、里山保全地域や特別緑地保全地区等の地域制緑地の指定等により達成することができました。また、「保全管理計画が策定された緑地の数」や「市街化区域内に新たに指定した地域制緑地の累計面積」についても順調に推移しています。

「みどりとふれあうイベントの参加者数」については、2020年度から2021年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、みどりのふれあいウォーク等のイベントを中止していましたが、2022年度は感染防止対策を講じた上で開催することができました。しかし、イベントへの参加を自粛する方も多く目標は未達成となりました。引き続き、所沢ブランドである「みどり」の保全や街づくりへの意識の向上を図るべく、周知啓発に努めていきます。

主な施策の実施状況

(1) みどりの保全と再生

市内に残る貴重な緑地を保全するため、地権者等の協力を得ながら、里山保全地域やまちなかみどり保全地区等の地域制緑地の指定を行っています。2022年度は、新たに7.70haの緑地を指定しました。

(2) 多様な野生生物の保全

みどりのパートナー育成講座や緑化講座において、本市のみどりの概況を理解し、多様な野生生物の生息・生育環境に配慮した質の高いみどりを保全するための普及活動を実施しました。また、身近な生きものへの関心の向上を目的に、生涯学習推進センター、若狭小学校、所沢小学校にて出前講座を開催し、市民に対して環境学習を実施しました。

(3) 街中のみどりの創出

市街化区域内に残る貴重なみどりを保全するため「まちなかみどり保全地区」の設置や、低未利用地を緑化し、所沢にふさわしい植物（在来種）や雨水の地下浸透をうながす施設等、環境に配慮した市民の憩いの場となる「みどりのエコスポット」の整備を進めています。

また、市街地の緑化を推進すべく、緑化の推進活動に関する基礎知識習得を目的とした緑化講座を開催し、一般市民及びみどりのパートナー登録団体の構成員15名が受講しました。

(4) みどりとふれあう機会の創出

本市の豊かなみどりへの理解と意識の向上を図るため、ふるさとのみどりを多くの方に知っていただくとともに、保全活動やまちなか緑化の推進活動を促すきっかけづくりとして、みどりのカーテンコンテストやみどりのふれあいウォークを実施しました。

また、市民や企業へゴーヤやアサガオの種子と手引きを配布し、植物とふれあうきっかけを提供しました。



■みどりのカーテンコンテスト



■みどりのエコスポット